

令和
7年度

事業所における自己評価総括表（公表）

COMPASS 発達支援センター観音寺



○事業所名	COMPASS発達支援センター観音寺			
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 10日		～	令和7年 9月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 5日		～	令和7年 9月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当ごとに事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されております。 複数の地域に事業所があるため、不明な点などは指定権者に確認をおこない、法令に沿った事業所運営に努めております。	児童が楽しみながら通ってくる事業所、成長を感じられる事業所、安心して通ってもらえる事業所を常に考えながら、決められたルールを遵守して取り組んでまいります。
2	作業療法士や5年以上の経験を持つ保育士・児童指導員などの専門職が療育支援に関わっており、専門性の高い支援をおこなっております。	専門職が中心となって支援計画の見直しをおこない、子どもの発達段階に応じた支援内容を検討しております。 また、日常的に職員間で情報共有や研修をおこない、専門性の高い支援の継続に努めております。	児童1人ひとりの課題に合わせた支援プログラムや教材をさらに充実させてまいります。
3	保護者様との情報共有を大切にし、悩みや困りごとに寄り添った支援の提供に努めております。	家族支援などで日々の困りごとを相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、児童の状況や課題を保護者様と共有できるようにしております。 保護者様から相談された内容を全職員で共有し、支援後の経過や達成状況を都度保護者様にお伝えすることで、保護者様の安心に繋げております。	今後も保護者様がお話をしやすい時間帯や相談の方法を検討してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の消防署や民生委員との交流の機会を設け、事業所の行事や訓練への参加を依頼するなど、地域とのつながりづくりに取り組んでまいります。 また、事業所の活動を近隣の方々に知っていただく機会づくりに努めてまいります。	地域への周知や理解が十分に進んでおらず、関係づくりのきっかけが少ない状況となっております。 また、地域行事などへの参加においてトラブルや安全面の不安があり参加できておりません。	地域の消防車や民生委員との交流の機会を持ち、事業所の行事や訓練への参加を依頼していきます。 事業所のことを近隣の方々に知ってもらう機会を設けていきます。
2	児童発達支援の相談があった場合でも利用定員の空きが少なく受け入れにくい状況にあります。	放課後等デイサービスの利用児童が多く、児童発達支援の受け入れ枠を十分に確保できておりません。	児童発達支援の利用希望状況を定期的に把握し、相談支援事業所と情報共有をおこないながら、必要な支援につながるよう連携強化に努めてまいります。



公表日：令和 8 年 3 月 11 日